

(案)

工事請負契約書

1

工事名

ふれあいの郷維持修繕作業

2

工事場所

長野県諏訪郡富士見町編笠山国有林1340林班外

3

工期

契約日の翌日から
令和8年11月27日まで

4

工事を施工しない日
工事を施工しない時間帯
(注) 工事を施工しない日又は時間帯を定めない場合は削除

5

請負代金額

円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円)

6

契約保証金額

円

7

前払金

請負代金額の10分の 以内

8

あっせん又は調停を行う建設工事紛争審査会

[

]

建設工事紛争審査会

9

選択条項

別冊約款中選択される条項は次のとおりであるが、そのうち
適用されるものは(○印)、削除されるものは(×印)である。

適用削除 の区分	選 択 事 項			選択条項
	契約保証金の納付			第4条第1項第1号
×	契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供			第4条第1項第2号
	銀行、発注者が確実と認める金融機関又は保証事業会社の保証			第4条第1項第3号
	公共工事履行保証証券による保証			第4条第1項第4号
	履行保証保険契約の締結			第4条第1項第5号
	[] 主任技術者 [] 監理技術者			第10条第1項第2号
	支給材料及び貸与品			第15条
	前金払			第35条第1項
	中間前金払			第35条第5項
	部分払	回以内		第38条
	部分払の対象となる工場製品			第38条
	国庫債務負担行為に係る契約の特則			第40条

- 10 解体工事に要する費用等
該当なし
- 11 建設発生土の搬出先等
該当なし

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び 年 月 日に交付した国有林野事業工事請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、受注者が共同企業体を結成している場合には、受注者は、別紙の共同企業体協定書により契約書記載の工事を共同連帯して請け負う。

【紙契約方式の場合】
本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

【電子契約システムの場合】
この契約書の締結の証として、本文書に対し発注者及び受注者が署名を行ったものを本システムで保存し、長期に渡って当該契約の成立及び内容を立証する。

令和 年 月 日

発注者(住所)

長野県伊那市山寺1499-1

(氏名)

分任支出負担行為担当官
南信森林管理署長 松下 洋

受注者(住所)

(氏名)

ふれあいの郷維持修繕作業

森林土木工事特記仕様書【個別】

第1 適用

森林土木工事特記仕様書【個別】は、「森林土木工事特記仕様書【共通】」に示されていない事項について定め、相互に補完するとともに、工事の施工に関する明細及び工事に固有する事項を定めるものである。

第2 工事内容

別添「本工事費内訳書」のとおり。

第3 指定仮設工

- 1 構造及び規格等については、下記「第9 標準施工図等」を参考とし、他の仮設物を採用する場合は労安則等諸法令に適合するもので、森林整備保全事業工事標準仕様書の各基準により施工するものとする。
- 2 数量変更を必要とする場合は、発注者と受注者で協議するものとする。

第4 施工箇所周辺の地山状況

施工箇所周辺の地山状況については、別添「施工箇所周辺の地山状況」及び「設計説明書」のとおりであり、労安則第355条により地山の掘削作業を行う場合、あらかじめ作業箇所及びその周辺の地山について調査を行い、労安則第358条によりその日の作業を開始する前、大雨の後及び中震以上の地震の後、浮石及びき裂の有無等を点検すること。

第5 指定工法及び付帯条件

第6 工事に係る補正事項

別添「経費条件表」（※施工地域が点在する工事については「点在経費条件一覧」）のとおり。

なお、運転手（特殊・一般）及び助手は冬期補正の対象としない。

第7 建設リサイクル法適用工事に関する特記事項

当工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づく分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事でない。

- 1 契約に先立ち、(4)に示す「解体工事費等の工種内容」を参考にして、「建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）」、「再資源利用計画書」及び「再生資源利用推進計画書」を作成し交付・説明すること。
- 2 当該工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、「再資源化等報告書」を作成し提出すること。
- 3 当該工事に係る解体工事等は、処理場での受託数量が確認できる書面（産業廃棄物管理表等）を提出すること。
- 4 解体工事費等の工種内容

解体方法	大型ブレーカによる破砕（30cm程度）及びバックホウによる積み込み				
解体工事に要する 直接工事費の工種内容	工種	特定建設資材の種類	単位	数量	備考
	構造物取壊工	コンクリート	m3	1.4	
再資源化等に要する 直接工事費の工種内容	殻運搬	コンクリート	m3	1.4	
	処分費	コンクリート	t	3.18	

第8 三者会議の開催

本工事は、施工者から三者会議の開催を要請された場合、明らかに会議開催の必要性が乏しいと判断される場合を除き、工事の品質確保円滑な事業執行を目的に、発注者、当該工事の詳細設計等を実施した建設コンサルタント等（以下「設計者」という。）及び施工者の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想、設計条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う三者会議を開催するものとする。

三者会議の運用にあたっては、「森林土木工事の施工段階における三者会議実施要領」（中部森林管理局ホームページ【公売・入札情報＞契約関係情報＞契約約款・標準仕様書・検査基準細則】）によるものとする。

(http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/apply/publicsale/keiyaku_info/keiyaku_yakkan/100601.html)

なお、当初発注から三者会議の設置対象工事である場合は、別途「9 三者会議に関する特記事項」を添付しているのでそちらによるものとする。

第9 その他特記事項（該当工事に添付）

- 1 コンクリート配合
- 2 支給材料
- 3 三者会議
- 4 国土強靱化関連事業における工事看板
- 5 概算数量発注方式による工事

第10 標準施工図等

添付されていない標準施工図については、中部森林管理局ホームページ【公売・入札情報＞契約関係情報＞その他＞森林土木工事の設計積算について】によるものとする。

(http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/apply/publicsale/keiyaku_info/sonota/other/sekisan.html)

第11 図面他

別添のとおり

第12 ウィークリースタンスの実施

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。実施にあたっては、「ウィークリースタンス実施要領」に基づき、発注者と受注者が相互に協力し、業務環境の改善等に取り組むものとする。

・ウィークリースタンス実施要領

(https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/apply/publicsale/keiyaku_info/keiyaku_yakkan/100601.html)

本工事費内訳書

ふれあいの郷維持修繕作業

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
林道維持修繕	式	1			費目行	
道路清掃工	式	1			工種行	
排水施設清掃工	式	1			種別行	
横断溝清掃	個所	5				
枿清掃	個所	28				
側溝清掃	m	3,500				
除草工	式	1			工種行	
林道除草工	式	1			種別行	
除草	km	6,800				
排水構造物工	式	1			工種行	
側溝工	式	1			種別行	
プレキャストU型側溝	m	15				
構造物撤去工	式	1			工種行	
構造物取壊工	式	1			種別行	

本工事費内訳書

ふれあいの郷維持修繕作業

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
コンクリート構造物取壊し	m3	1 400				
運搬処理工	式	1			種別行	
殻運搬処理	m3	1 400				
廃棄物処理費	t	3 180				
仮設工	式	1			費目行	
仮設工【任意仮設】	式	1			工種行	
工事用道路工	式	1			種別行	
土砂運搬	時間	30				
直接工事費	式	1				
共通仮設費計	式	1				
共通仮設費(率計上)	式	1				
純工事費	式	1				
現場管理費	式	1				
工事原価	式	1				

[illegible]

経 費 条 件 表

ふれあいの郷維持修繕作業

補正項目	補正内容	説明
【週休2日補正】	(現場閉所)月単位の週休2日	
【冬 期 補 正】	補正無し	
【通 勤 補 正】	補正無し	
【時 間 制 約】	補正無し	
治山林道(林野庁)／令和7年度(2025年度)		
工種区分	道路維持工事	
現場環境改善(率分)計上区分	計上しない	
現場環境改善(率分)補正	「施工地域・工事場所による補正」で選択	
施工地域・工事場所による補正	山間僻地及び離島	【共通仮設費率×1.3、現場管理費率×1.0】
ICT間接費補正	補正なし	【共通仮設費率×1.0、現場管理費率×1.0】
施工時期(冬期)補正	補正なし	
真夏日率(工期期間の真夏日÷工期)	0	
緊急工事補正(施工時期と重複しない)	補正なし	【現場管理費率+0%】
治山・地すべり等工事の条件	該当する条件はなし	【現場管理費率+0%】
工期延長等時点の純工事費	0	
工期延長等日数(日)	0	
工期延長等土木世話役単価(円/日)	0	
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下	【一般管理費率×1.00】
契約保証に係る補正	金銭の保証を必要とする場合	【一般管理費率+0.04%】
工事価格丸め	一千円丸め切り捨て	
消費税率	10	
週休2日補正	(現場閉所)月単位の週休2日	【共通仮設費率×1.03、現場管理費率×1.05】
復興係数補正	補正なし	【共通仮設費率×1.0、現場管理費率×1.0】

